



いっぽんぎ

今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

滝沢市立一本木小学校
令和8年 8月26日
第10号 文責：亀 丸

小中合同引き渡し訓練ありがとうございました

8月20日(木)に、中学校と合同で保護者への引き渡しによる下校訓練を実施しました。これは、岩手山の噴火の恐れが高くなり、噴火警戒レベルが引き上げられたことに伴い、児童の生命の安全を確保するために、噴火する前の段階で保護者への引き渡しによる下校を行い、学校を速やかに閉鎖することを想定しての訓練でした。

まず、マチコミメールにて引き渡しによる下校案内と、誰が迎えにくるか回答いただくアンケートが送信されました。多くの保護者の方々にご回答いただきましたが、回答終了の時刻までに回答いただけなかったご家庭もありました。お仕事中なのでスマホを見たり操作したりすることが難しい状況もあるかと思います。

14時30分より引き渡しによる下校を開始しました。玄関ホールで児童引き渡しカードに記入いただきました。ご家庭からオレンジ色の引き渡しカードを持参してくださった方もいらっしゃいました。連絡が不十分で失礼いたしました。



玄関ホールでの受付の様子



学習や読書、学級での活動等をしながら、保護者の迎えを待つ子ども達。



保護者の方々には教室までお子さんを迎えに行ってくださいました。子ども達は、教室で学習したり読書したりしながら保護者の迎えを待ちました。玄関ホールでの待機も考えたのですが、空調設備がないので教室で待たせることにしました。

学級では保護者が迎えに来た児童が担任に「〇〇が迎えに来たので帰ります。」と告げて保護者と合流しました。

引き渡しによる下校終了は15時30分でしたが、小学校、中学校ともに時間内に全員の引き渡しを完了することができました。

仕事等で忙しい中、時間通りの迎えにご協力くださったことに感謝いたします。様々課題点もあったかと思います。Googleフォームでアンケート調査を実施しております。8月31日(月)までの回答となっ



保護者とともに下校する子ども達。おじいちゃんやおばあちゃんが迎えに来てくださった家庭もありました。

迎えがくると何かほっとした表情をする子ども達でした。

ております。ご協力をお願いいたします。

今回の引き渡しによる下校ですが、岩手山の噴火警戒レベルの引き上げによるものだけではなく、これから秋にかけて増えてくるだろうと思われる、学校周辺での熊の出没や、豪雨災害や雷雨等でも行う可能性があります。突然の迎えとなってしまうこともあるかと思います。その時はどうぞよろしくお願いいたします。職員引率による集団下校か保護者への引き渡しによる下校かの判断については、その都度中学校とも協議しながら決めていきたいと思っています。

小中合同職員研修を実施しました

7月24日（金）に小中合同の職員研修を行いました。岩手山のふもとに位置する地域にある学校に勤務している我々ですが、岩手山の状況や火山の噴火に伴い発生する災害に対する理解が足りないのではという思いから、この研修会を行いました。

当日は盛岡地方気象台火山防災官の樋渡秀一様より、火山噴火に伴う災害、現在の岩手山の状況、岩手山が噴火した際に想定される災害についてご講話いただきました。現在岩手山は西側火口での水蒸気爆発に気を付けなければならないこと、東側火口でのマグマ噴火で発生する融雪型火山泥流は、小学校付近では深さは1m以内ではあると思われるが、少なくとも30分以内には到達すること、火山灰は数cm積もるだけで、坂道を自動車が上がることができないこと、本校の場合は、噴火する前に安全に避難することが重要であることを教えていただきました。今後、各校の危機管理マニュアルの見直しを図っていく際の参考となる貴重な研修になりました。



- ・火山を知り、最新の情報を得て、正しく恐れることが重要。
- ・現在は西側火口からの水蒸気爆発の危険性があり警戒レベル2となっている。一本木地区が警戒しなければならないのは、積雪期の東側火口からのマグマ噴火とそれに伴って発生する融雪型火山泥流。
- ・噴火してからの避難では間に合わないので、警戒レベルが引き上げられた段階で避難することが必要。
- ・観測体制は細やかで、いきなりマグマ噴火することはあまりないと考えられるが、垂直避難も訓練しておくことが望ましい。

岩手山が噴火した場合等、ご自宅はどのような災害の可能性があるかご存じでしょうか？「滝沢市防災マップ」（令和5年2月 発行）をご覧になりお確かめください。もしそうなった時に、どのような手段でどこに避難するのか、ご家庭で話し合っていたいただきたいと思います。

市HP： ホーム＞くらしの情報＞安全安心＞滝沢市防災マップと災害から大切な命を守るために
※「たきざわeマップ」等でも確認することができます。

第2回防災訓練を実施しました

今年度2回目の防災訓練を8月24日に実施しました。今回は休み時間に理科室から出火を想定しての避難訓練でした。休み時間なので近くに職員がいませんし、それぞれが様々な場所で過ごしています。火災を知らせる放送をその場を動かず黙って聞き、自分で避難経路を考えながら、近くにいる友達と一緒に安全に避難することを目標に訓練に臨みました。当日はほとんどの子が外で遊んでいました。その場にしゃがんで緊急放送を聞き安全に避難できました。

1回目の防災訓練では、避難訓練のほかに煙が充満した建物の中を歩く体験もしましたが、2回目となる今回は、滝沢市消防団第6分団の方々のご協力のもと、消防ポンプ車装備品や、学校の校庭付近の消火栓から水を取り入れ放水する訓練を見せていただきました。保育園の年長児も一緒に見学しました。普段見ることができない装備品や放水するホースのノズルを持たせていただくなど、貴重な体験をしました。お忙しい中ご協力いただきました分団長の畠山和男様をはじめとする第6分団の皆様、暑い中大変ありがとうございました。

なお、第3回目の防災訓練は1月に実施する予定です。噴火警戒レベルが引き上げられることなく突然岩手山が噴火した場合を想定した垂直避難訓練を実施します。積雪期の岩手山の噴火では融雪型火山泥流が発生する可能性があり、建物の外に避難することができません。よって校舎3階に避難し救助を待つことになります。この場合、保育園の園児も本校に避難します。最低限の職員で本校児童の安全を確保しつつ、本校の職員が保育園に出向き、園の職員とともに園児の避難と物品の搬入を支援する予定になっています。

